

信書便協会

市場の活性化へ動く

「パイ増やす方策を」

貨物運送事業者が多数 十一億円。十五年の信書市場として百億円の域を占める特定信書便業 便法施行で信書送達への 出ない。千億円、五千億 界。信書便事業者協会 民間参入が可能になって 円の市場を目指すには、パ (伊東博会長) KDDI 以来、百億円に迫る勢い イを増やす方策を考えな エボルバ社長) は、業界 で成長している。

の活性化へ本格的に動き 「事業参入しやすい環 境にはなったが、増えな 出そうとしている。

特定信書便の市場規模 いパイの奪い合いがある 事業者の適正な運営確保 は平成二十三年で約九 のが実態。このままでは や情報交換など業界の活

性を図る目的で、二十 業者約八十社で構成す 三年に設立。福山通運や 合通、KDDIエボル バ、KSGインターナシ ョナルなど特定信書事業 許可を持つ物流・通信事

事業展開の 可能性提言

昨年の一般社団法人移



「特定信書便の活性化には 無から有を生み出す考え 方も必要」と伊東会長

行後、事業運営でのコン プライアンス(法令順守) 徹底、安心・安全・確実 な信書送達を図る取り組 みを積極展開。「会員に 安心・安全な信書送達の 手ほどきをし、信書を扱 うことを認識してもらう ことが使命(伊東会長)。

事業を管轄する総務省 じ、「協会に加盟する多く の担当者を招き、北海道 の運送事業者にも事業展 開の可能性を提言してい きたい(同)。

を深める会員向けの講習 会を開催。

今年度中をめどに、事 業許可の申請方法や特定 信書便について解説した ガイドブックも作成。行 政への要望・働き掛けも 加速する。

今後は、独自の施策や 工夫で実績を上げている 会員の先進事例などを通 じて、協会に加盟する多く の運送事業者にも事業展 開の可能性を提言してい きたい(同)。

(水谷 周平)